

## 平成28年度第2回高知西病院地域協議会 議事概要

【構成員】	(行政)	川内 敦文	(高知県健康政策部医療政策課 課長)
		山下 昌宏	(高知市健康福祉部地域保健課 課長)
	(医師会)	田村 章	(高知県医師会 副会長)
		藤井 貴章	(高知市医師会 理事)
	(関係医療機関)	大串 文隆	(国立病院機構高知病院 院長)
	(利用者)	土居 怜子	
	(高知西病院)	山田 光俊	(院長)
		梶谷 充	(副院長)
		中路 達也	(事務長)
		山田 真裕美	(総看護師長)
		宮村 みき	(副総看護師長)

【開催日時】 平成29年3月9日(木) 13:00～14:00

【開催場所】 独立行政法人地域医療機能推進機構 高知西病院 健康管理センター1階小会議室

- 【議題】
1. 高知西病院地域協議会設置要綱の改定について
  2. 当院運営実績(経営状況)について
  3. 平成29年度計画(地域包括ケア病床の開設等)について
  4. 看護部門の活動状況(フットケア外来の開設等)について
  5. 地域包括ケア推進の取り組みについて

【出席者】

(行政)	高知県医療政策課・川崎課長補佐(代理出席)、 高知市地域保健課・山下課長
(医師会)	高知県医師会・田村副会長、高知市医師会・藤井理事
(関係医療機関)	国立病院機構高知病院・大串院長
(利用者)	土居 怜子
(高知西病院)	山田院長、梶谷副院長、中路事務長、山田総看護師長、 宮村副総看護師長、仲西事務長補佐(総務企画)

### 【概要】

1. 高知西病院地域協議会設置要綱の改定について

JCHO本部からの通知に従い、地域協議会の運用(地域協議会の年複数回実施及び構成員・議事概要・意見に対する対応状況等の公開)について、設置要綱に追記するとともに当院ホームページにて公開することになったことを説明する。

### 【質疑応答】

- ・個人的な質問も公開されますか。  
→ 支障のないよう検討します。  
また、委員全員に内容確認及び了承をいただいたうえで公開することとします。  
各委員了承。

## 2. 当院運営実績（経営状況）について

職員数・患者数・健診運営状況及び決算状況等について説明する。

前回の協議会で報告した平成29年度から実施する定数管理については、現在協議中で6月ぐらい迄決定が遅れることになりました。

### 【質疑応答】

・JCHO本部への負担金は、拠出金以外にありますか。

→ 基本的には拠出金だけです。但し、年度決算が終わった段階で経常収支率が100%を超える病院は、利益配当金（平成27年度5%）を本部に収めることになっています。

## 3. 平成29年度計画（地域包括ケア病床の開設等）について

平成29年度計画（入外診療収益・増収見込み額・予定費用額等）について説明する。

また、早期退院の促進等を目的とした地域包括ケア病床16床を7月に開設することを計画しており、病室整備・既存病室におけるシュミレーション結果の検証を兼ねた実績作り等を実施しているとともに、医師の業務負担を少しでも解消することを目的として、薬剤師の病棟配置や医師事務作業補助者の活用を検討していることを報告する。

### 【質疑応答】

・地域包括ケア病床開設により一般病床は減少しますか。

→ 5階病棟の一般病床16床を使用するので、病床数は変わりません。

・今迄、地域包括ケア病床はなかったのですか。

→ ありませんでした。地域包括ケア病床を開設するためには、データ提出加算の算定が必須条件になるが、当院はDPC病院でないこともあり算定出来ていませんでした。

## 4. 看護部門の活動状況（フットケア外来の開設等）について

平成28年度看護課主体の収益を上げる取り組みとして、高齢者看護の質の向上を目的とした認知症ケア加算の取得及び糖尿病看護の質の向上を目的としたフットケア外来の開設について説明する。

また、地域包括ケア病床の開設について、プロジェクトチームを立ち上げ、看護の質を落とさず、他病棟と同じケアが出来るよう取り組んでいることを報告する。

### 【質疑応答】

・地域包括ケア病床の看護体制はどのようにされていますか。10対1ですか。

→ 10対1です。

・収益は上がると言われていましたが、どこで上がりますか。

→ 出来高で計算した場合と途中で地域包括ケアに移った場合の点数を比較すると、地域包括ケア病床の方が高くなりますが、その差額に病床利用率90%における患者数（16床と日数）を掛けて収益を算出しています。

・看護必要度はどうなりますか。

→ 今日の状況で13.3%であり、看護必要度3になります。

## 5. 地域包括ケア推進の取り組みについて

活動状況（第1回JCHO高知西病院地域包括ケア推進連携連絡会の開催、病院広報誌（こなつ）第2号発刊、地域住民に対しての健康教室の開催、地域の先生を招いての講演会実施の予定）について説明する。

また、病院間においては連携も進んでおり情報も入りやすくなっているが、地域の方々には十分に知られていないことが大きな問題であると思われるため、今後は退院時にもっと親密に連携を取るなど地域の方々に寄り添っていくことに力を入れることを報告する。

### 【質疑応答】

- ・様々な取り組みを行われているが、知らない地域住民も多いと思われます。パンフレット等を配布されないのか。  
→ 出来る限り配布します。
- ・配布しないとなかなか住民の方々には伝わらないと思います。各町内会に持って行きますので、その都度相談していただきますようお願いいたします。  
→ 了解しました。

### 6. その他（質問事項等）

- ・フットケア外来は、脊椎手術後の後遺症による足のむくみについても対象となりますか。  
→ 医師の指示があれば実施しますが、基本は糖尿病の方が対象となります。
- ・地域包括ケア病床を7月から開設される予定とのことですが、いつ頃改修等を予定していますか。  
→ 5月を予定しています。
- ・それ迄に補助決定というものがあり、それを受けたいことになると期間が短いように思われます。  
→ 29年度早々に申請したいことは担当の方に伝えており、3月の審査会に間に合うように出して下さいと言われております。その時に日程等についても報告しておりますので、よろしくお願い致します。
- ・地域包括ケア病床を増やしていただくことは非常に有難く思っております。成功例となつていただくことで、他の病院も手を挙げられると思っておりますので、よろしくお願い致します。
- ・すごく頑張っておられると思います。  
→ 医師の数は少ないが、近隣病院との連携を密にし、元気になって帰っていただくことを願いながらチーム医療を実践しております。  
また、耐震工事はしていますが、地震等災害に備えるためにも新病院を早く再建したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

以上